

Panasonic®

アクティブサブウーハーシステム 取扱説明書

品番 SB-AS30



上手に使って上手に節電

保証書別添付

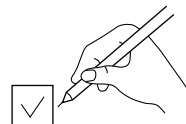
このたびは、アクティブサブウーハーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

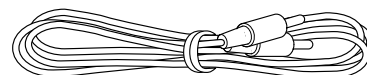
| | |
|-------------|-----|
| ●ご使用の前に | ページ |
| 付属品の確認 | 2 |
| 特長 | 2 |
| 安全上のご注意 | 3 |
| ●準備 | |
| 設置のしかた | 5 |
| 接続のしかた | 6 |
| ●使いかた | |
| 使いかた | 8 |
| ●その他 | |
| 故障かな!? | 9 |
| お手入れ | 9 |
| 主な仕様 | 9 |
| 保証とアフターサービス | 10 |

付属品の確認

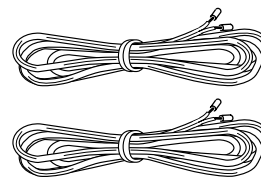


設置、接続の前に
まず付属品を確かめてください。

ピンコード 1本
(RJL1P015B50)



スピーカーコード 2本
(REEZAS30-1)



付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談
ください。

かっこ内は買い替え時の品番です。

特長

- ダイナミックレンジの大きいドルビーデジタル* などの映画ソフト再生に追従する100Wのハイパワー
- 16cmドライバーと大面積、長円パッシブラジエーター（20cm相当）搭載
- 連続可変（50～200Hz）のローパスフィルター
- 位相切換スイッチ（NORMAL/REVERSE）
- アンプのサブウーハー用出力端子に接続する入力方法とスピーカー端子に接続する入力方法の2系統

*ドルビーデジタルは、ドルビーサラウンドからドルビープロロジックサラウンドと継続して発展してきたドルビーサラウンドのマルチチャンネル、デジタルシステムの名称です。

ドルビーデジタルは5.1チャンネルシステムとも呼ばれます。

20Hz～20kHzまでの周波数範囲を持つ5チャンネル（フロント左、右、センター、リア左、右）と、独立したサブウーハー用チャンネルを持っているためです。

サブウーハー用チャンネルは、LFE（Low Frequency Effect）とも呼ばれています。LFEチャンネルは、迫力ある低音を楽しみたいときに好みに合わせて使用するチャンネルとしています。



ドルビー、DOLBY、及びダブルD記号 **DD** はドルビーラボラトリーライセンスコーポレーションの商標です。

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|--|
|  警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
|  注意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

| | |
|---|-------------------------------|
|  | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

警告

電源コード

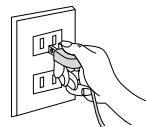
電源コード・プラグを破損するようにはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

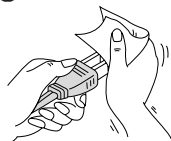


ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

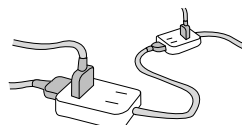
もし異常が起これたら

電源プラグのほこり等は定期的にとる



- プラグにはこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



- たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

以下のようなときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

警告

使用方法

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない



分解禁止

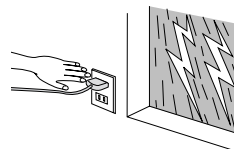
- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

雷

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない



接触禁止



- 感電の恐れがあります。

注意

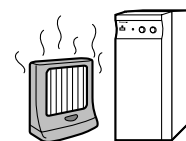
設置・接続

以下のことを守り正しく設置する



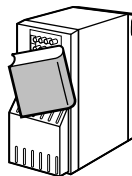
- 不安定な場所に置かない
 - 上に大きなもの重いものを載せない
 - 壁や天井に取り付けない
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない



- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

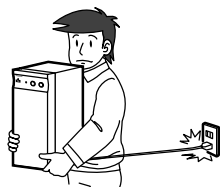
油煙や湯気の当たるところや、湿気やほこりの多いところに置かない



- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

使用方法

コードを接続した状態で移動しない



- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない

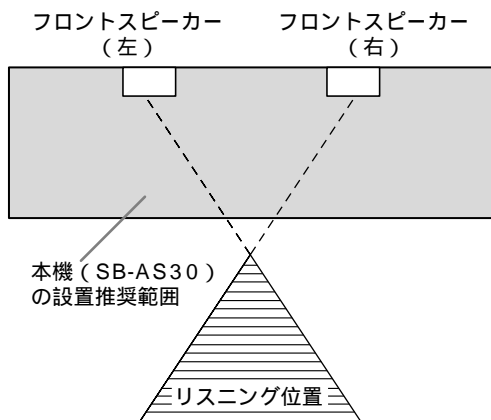


- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

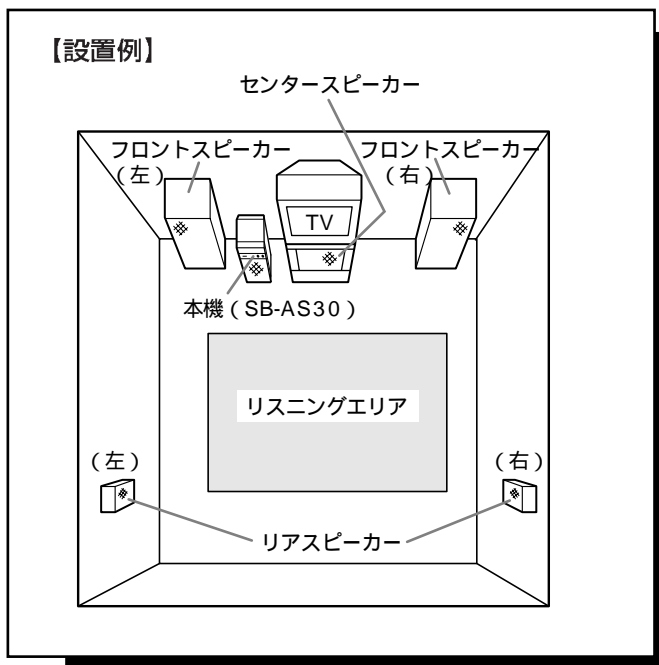
設置のしかた

設置場所

本機は、人間の耳が低音域において、方向感覚を感じにくいことを利用し、重低音をモノラルで再生します。方向感覚を感じにくくなるため、設置場所は、かなり自由になりますが、あまり離れた場所に置くと、左右のスピーカーとの音のつながりが不自然になる場合があります。



サラウンド効果を最大限に発揮させるため、下図のようなスピーカーの設置をおすすめします。



テレビの近くに設置するスピーカーは防磁型のものをお使いください。(本機は防磁型です。)

左右のスピーカーはテレビから等距離になるように設置してください。

リア(サラウンド)スピーカーはリスナーの真横または少し後方で、耳の位置から約1m程度上方で横向きに設置すると効果的です。

設置上のお願

- 本機の放熱をよくして故障を防ぐために、他の機器、壁などから十分な間隔をあけてください。

天面 ……60cm以上
後面 ……10cm以上
側面 ……30cm以上

- 次のような場所には設置しないでください

- ・アルコール類やスプレー式の殺虫剤など、引火性のものを使用する場所
- ・カセットデッキなどのように、磁界に影響される機器のそば

- テレビに色ムラが生じた場合、テレビとの距離を離してください

- ・本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム<防磁設計(EIAJ)>*ですが、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15分~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。

- ・近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

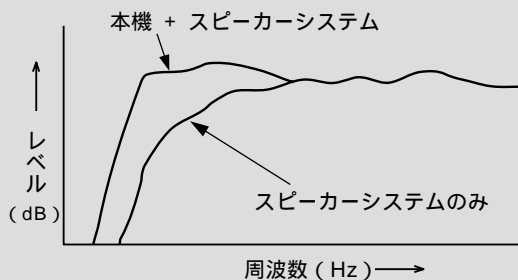
*「防磁設計(EIAJ)」とは(社)日本電子機械工業会(EIAJ)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

- チューナーのアンテナケーブルから離して設置してください

近くに置いた場合に雑音が出ることがあります。このようなときはアンテナやアンテナケーブルから本機を離してご使用になるか、やむを得ない場合は本機の電源を切ってください。

●本機の働き

SB-AS30をスピーカーシステムと組み合わせると、下図のような特性が得られ、低音域が増強されます。



ドルビーデジタルの再生においては、サブウーハーの専用再生チャンネルの設定を推奨しており、特にLFE(Low Frequency Effect; 映画などの迫力を増すための地鳴りのような効果音)の再生に対してSB-AS30は有効です。

接続のしかた

- 接続の前に、接続する機器の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
- ご使用になるアンプに【サブウーハー用の出力端子】がある場合と、ない場合では接続方法が異なります。
それぞれの場合に応じて、下記のように接続してください。

お願い

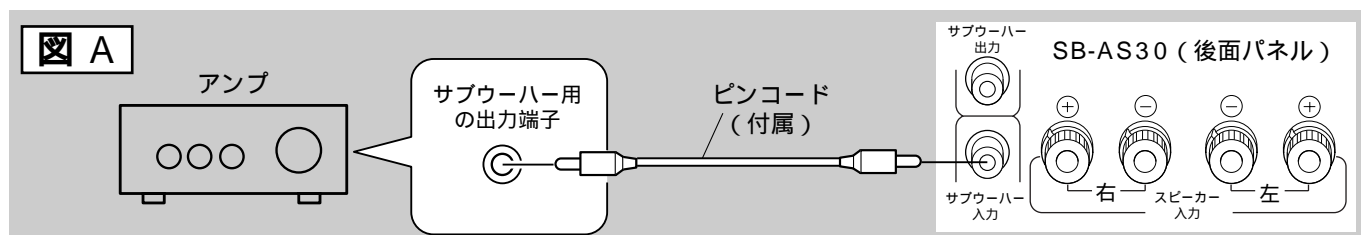
- 本機の「サブウーハー入力」端子と「スピーカー入力」端子は同時に使用できません。

図 A の接続をした場合は 図 B、図 C の接続はしないでください。

アンプに【サブウーハー用の出力端子】がある場合 ➡ 図 A のように接続してください

お知らせ

- アンプの【サラウンド出力端子】や【センター出力端子】に接続しても、十分な低音が得られません。
(これらのチャンネルの信号には、もともと低音成分が少ししか入っていません。)
- 本機の「サブウーハー出力」端子はサブウーハーをさらに増設するときなど、本機を経由して、他の機器を接続するときに使用します。



アンプに【サブウーハー用の出力端子】がない場合 ➡ 図 B または 図 C のように接続してください

図 B、図 C の2種類の接続方法があります。

アンプ、フロントスピーカー、本機の設置場所、接続するスピーカーコードの長さ、などから都合のよい方を選んでください。

お願い

- R (右) と L (左)、⊕ と ⊖ は正しく接続してください。
- スピーカーコードの ⊕ と ⊖ は絶対にショートさせないでください。
- スピーカーコードは本機に2本、付属しています。
足りない分はステレオシステムに付属しているものなどをお使いください。

お知らせ

- 2組のスピーカー端子 [A] と [B] があるアンプで、スピーカースイッチで [A+B] を選択したときに、[A] と [B] が直列接続になる場合は、本機とフロントスピーカーを [A] と [B] に接続して [A+B] を選択しても音が出ないことがあります。

図 B

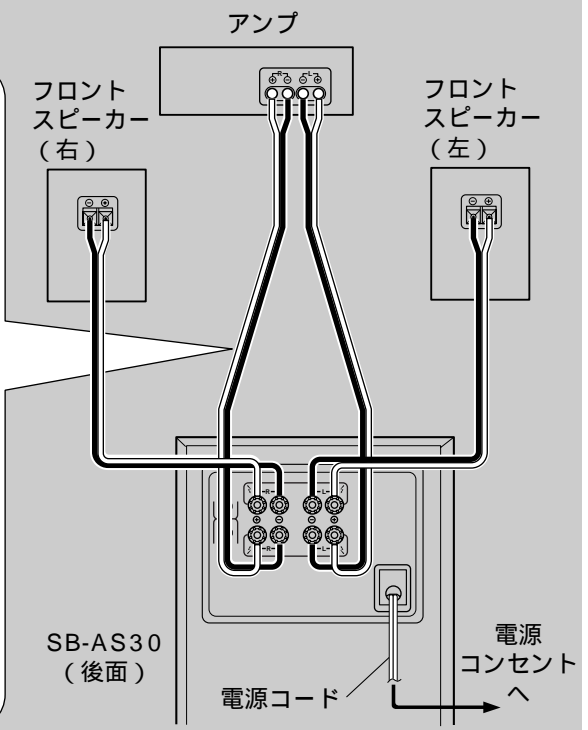
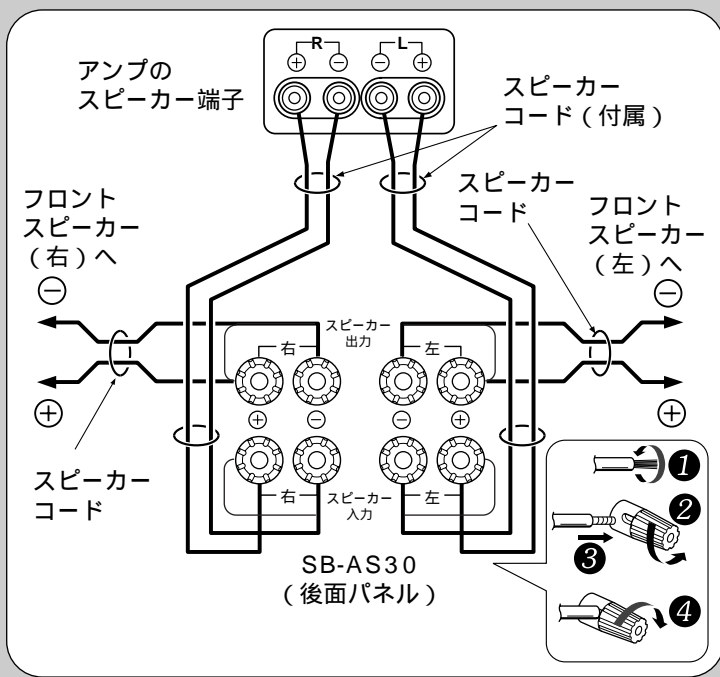
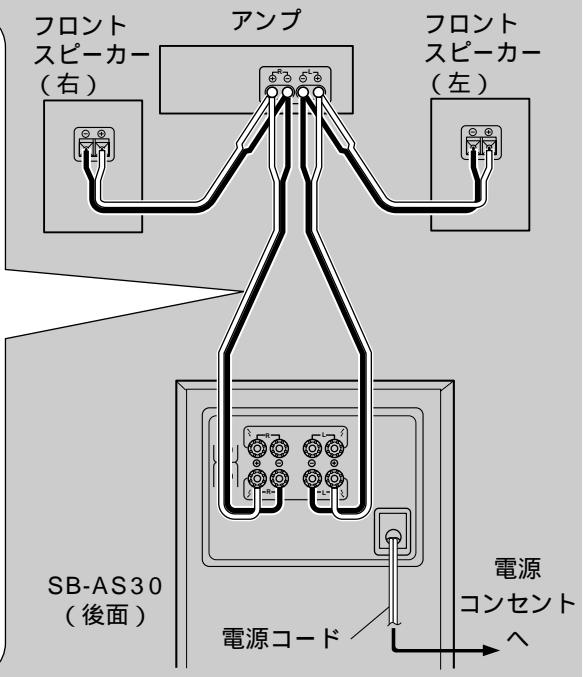
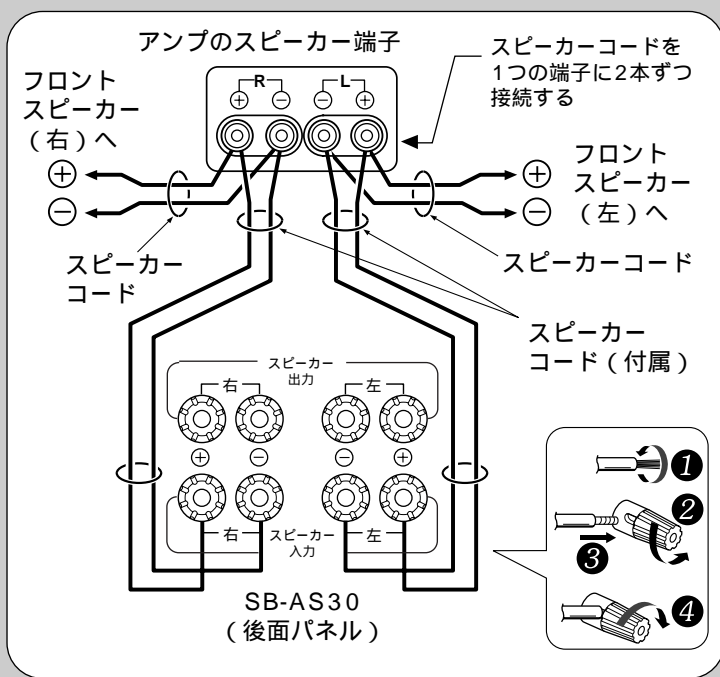


図 C



●すべての接続が終わってから、電源プラグを電源コンセントに接続してください。

電源コードの接続について

ご使用になるアンプにスイッチ連動コンセントがある場合は、本機の電源コードを、そこに接続することをおすすめします。

電源「入」、「切」時のショック音や、ハウリングが防止できます。

使いかた

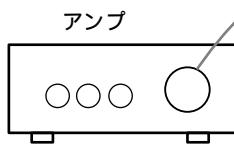
1 [POWER] を押す

- 電源が入り、ランプが点灯します。

電源「入」、「切」時のショック音を防止するために

- **アンプにスイッチ連動コンセントがある場合**
本機の電源プラグを連動コンセントに接続し、アンプ側で電源を「入」、「切」してください。
- **連動コンセントに接続しない場合**
電源「入」時はアンプを先に「入」にし、電源「切」時は本機を先に「切」にしてください。

2 アンプを操作して音を出し、フロントスピーカーの音量を調整する



お願い

- アンプ側で低音を増強しないでください。
- アンプ側で低音を増強すると音がひずみやすくなります。

本機 (SB-AS30)

3 [LOW PASS FILTER] を回して、本機が再生する周波数領域を調整する

フロントスピーカーのウーハーの口径をもとに、次の周波数を目安にしてください。

- 20センチ以上 …… 50Hz
- 10～25センチ …… 100Hz
- 12センチ以下 …… 200Hz

4 [VOLUME] を回して、本機の音量（低音）を設定する

- 最小 (MIN) 位置からゆっくりと回し、低音がひずまない位置に設定してください。

本機とフロントスピーカーの音のつながりが不自然なときは

● [PHASE] を押して、位相を切り換える

- NORMAL …… フロントスピーカーと本機の位相が同じ
- REVERSE …… フロントスピーカーと本機の位相が逆

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

| 症 状 | 原 因 | 処 置 | 参 照 ページ |
|---|--|---|-------------|
| 電源が入らない。 ([POWER] を押しても ランプが点灯しない。) | • 電源プラグが正しく接続されていない。 | • プラグを正しく接続する。 | — |
| 音が出ない。 (ランプは点灯する。) | • [VOLUME] がMIN位置。 • スピーカーコードまたはピンコードの接続 が正しくない、または外れている。 | • [VOLUME] をゆっくり右に回す。 • 接続を確認し、正しく接続する。 | 8 6、7 |
| [VOLUME] を回しても 音が大きくなるしない。 | • スピーカーコードの極性 (本機とアンプ間 の接続の ⊕ と ⊖) を逆に接続している。 | • 極性 ⊕ と ⊖ を確認し、正しく接続する。 | 6、7 |
| 音がひずむ。 | • 音量が大きすぎる。 • アンプのフロントスピーカー用端子に本機 を接続した場合に、アンプで音がひずんで いる。 | • [VOLUME] を左に回し、音量を下げる。 • アンプ側で低音を増強しない。 | 8 — |
| 発振する。 (大きな音が連続的に出る) | • アンプのフロントスピーカー用端子に本機 を接続した場合に、アンプの電源を切ったり スピーカースイッチを「切」にした。 • 本機の音量が大きすぎる。 | • アンプの電源を入れる、または スピーカースイッチを「入」にする。 • 本機を先に切ってから、アンプを切る。 • [VOLUME] を左に回して音量を下げる。 | — — 8 |
| ラジオを聞いたとき雑音 が多い。 | • AMループアンテナやFMの室内アンテナが 本機の近くにある。 | • AMやFMのアンテナ(室内用)と本機の 距離を離す。 | — |

お手入れ

柔らかい布でふいてください。

ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤 (中性) を含ま
せた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に
従ってください。

主な仕様

●アンプ部

実用最大出力 (30~200 Hz, 4 Ω) ……………100 W

入力端子

サブウーハー入力 ……………160 mV/ 50 kΩ

スピーカー入力 ……………1.6 V+1.6 V/ 15 kΩ

ローパスフィルター ……………50~200 Hz (連続可変)

位相切換 ……………NORMAL/REVERSE (切換)

●スピーカー部

形式 ……………パッシブラジエーター方式フロアー型

スピーカー ……………16 cmコーン型

パッシブラジエーター ……15.6 cm×28.6 cm長円型

●電源部・その他

電源 ……………AC 100 V、50/60 Hz

消費電力 ……………80 W

寸法 (幅×高さ×奥行) ……190×430×430 mm

質量 ……………10.0 kg

注) この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よく読みあとのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

9ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、アクティブサブウーハーシステムの補修性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
注）補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック

お客様ご相談センター

パナは 365日
0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）

365日 / 受付9時～20時

International Customer Care Center

ナショナル/パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品（輸出商品・海外生産品・観光客向け製品）についてのご相談は

TOKYO ☎ (03)3256-5444

OSAKA ☎ (06)6645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ナショナル/パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 ☎ (011)894-1251
札幌市厚別区厚別南
2丁目17-7

旭川 ☎ (0166)31-6151
旭川市2条通21丁目
左1号

帯広 ☎ (0155)33-8477
帯広市西19条南
1丁目7-11

函館 ☎ (0138)48-6631
函館市西桔梗589番地
241(函館流通卸
センター内)

東北地区

青森 ☎ (0177)39-9712
青森市大字ハッ役
字矢作1-37

秋田 ☎ (018)826-1600
秋田市御所野湯本
2丁目1-2

岩手 ☎ (019)639-5120
盛岡市羽場13地割
30-3

宮城 ☎ (022)375-2512
仙台市泉区市名坂
字清水端59-2

山形 ☎ (023)641-8100
山形市流通センター
3丁目12-2

福島 ☎ (0243)34-1301
福島県安達郡本宮町
字南/内65

首都圏地区

栃木 ☎ (028)632-8450
宇都宮市中央1丁目
8-13

群馬 ☎ (027)352-1217
高崎市萩原町沖中
205-18

水戸 ☎ (029)225-0119
水戸市柳河町309-2

つくば ☎ (0298)64-8090
つくば市花畑2丁目
8-1

埼玉 ☎ (048)728-8960
桶川市赤堀2丁目4-2

千葉 ☎ (043)208-6011
千葉市中央区
星久喜町172

船橋 ☎ (047)334-5111
船橋市本中山6丁目
11-7

柏 ☎ (0471)63-8905
柏市北柏1丁目6-6

東京 ☎ (03)5477-9780
東京都世田谷区宮坂
2丁目26-17

山梨 ☎ (0552)22-5171
甲府市下飯田2丁目
1-27

神奈川 ☎ (045)847-9720
横浜市港南区日野
5丁目3-16

新潟 ☎ (025)286-7725
新潟市東明1丁目
8-14

中部地区

石川 ☎ (076)294-2683
石川県石川郡野々市町
稲荷3丁目80

富山 ☎ (0764)32-8705
富山市寺島1298

福井 ☎ (0776)54-5606
福井市開発4丁目112

長野 ☎ (0263)58-0073
松本市大字笹賀
7600-7

静岡 ☎ (054)287-9000
静岡市西島765

名古屋 ☎ (052)819-0225
名古屋市長瑞穂区
塩入町8-10

岡崎 ☎ (0564)55-5719
岡崎市岡町南久保28

岐阜 ☎ (058)323-6010
岐阜県本巣郡北方町
高屋太子2丁目30

高山 ☎ (0577)33-0613
高山市花岡町3丁目82

三重 ☎ (059)255-1380
久居市森町字北谷
1920-3

近畿地区

滋賀 ☎ (077)582-5021
守山市勝部町6丁目
2-1

京都 ☎ (075)672-9636
京都市南区
上鳥羽石橋町20-1

大阪 ☎ (06)6359-6225
大阪市北区本庄西
1丁目1-7

奈良 ☎ (0743)59-2770
大和郡山市椎木町
404-2

和歌山 ☎ (0734)75-1311
和歌山市中島499-1

兵庫 ☎ (078)272-6645
神戸市中央区
琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

鳥取 ☎ (0857)26-9695
鳥取市安長295-1

米子 ☎ (0859)34-2129
米子市米原4丁目
2-33

松江 ☎ (0852)23-1128
松江市西津田2丁目
10-19

出雲 ☎ (0853)21-3133
出雲市渡橋町416

浜田 ☎ (0855)22-6629
浜田市下府町
327-93

岡山 ☎ (086)292-1162
岡山県都窪郡早島町
矢尾807

広島 ☎ (082)295-5011
広島市西区南観音
8丁目13-20

山口 ☎ (0839)86-4050
山口市鑄銭司
字鑄銭司団地北
447-23

四国地区

香川 ☎ (087)868-9477
高松市勅使町152-2

徳島 ☎ (0886)98-1125
徳島県板野郡北島町
鯛浜字かや108

高知 ☎ (0888)66-3142
南国市岡豊町中島
331-1

愛媛 ☎ (089)971-2144
松山市土居田町
750-2

九州地区

福岡 ☎ (092)593-9036
春日市春日公園
3丁目48

佐賀 ☎ (0952)26-9151
佐賀市本庄町
大字本庄896-2

長崎 ☎ (095)830-1658
長崎市東町1949-1

大分 ☎ (097)556-3815
大分市萩原4丁目
8-35

宮崎 ☎ (0985)85-6530
宮崎県宮崎郡清武町
下加納366-2

熊本 ☎ (096)367-6067
熊本市健軍本町12-3

天草 ☎ (0969)22-3125
本渡市港町18-11

鹿児島 ☎ (099)250-5657
鹿児島市与次郎
1丁目5-33

大島 ☎ (0997)53-5101
名瀬市矢之脇町
10-5

沖縄地区

沖縄 ☎ (098)877-1207
浦添市城間4丁目23-11

音のエチケット

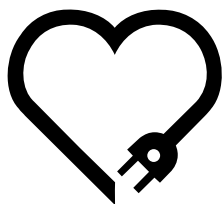
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検

長年ご使用のアクティブサブウーハーシステムの点検を！



このような症状はありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・音が出ないことがある
- ・正常に動作しないことがある
- ・商品に破損した部分がある
- ・その他の異常や故障がある



このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

| | | | | | | | |
|----------------------------------|--------|---|---|---|----|----------|--|
| 便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です | お買い上げ日 | 年 | 月 | 日 | 品番 | SB-AS30 | |
| | 販売店名 | | | | | お客様ご相談窓口 | |
| | | | | | | ☎ () - | |

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号